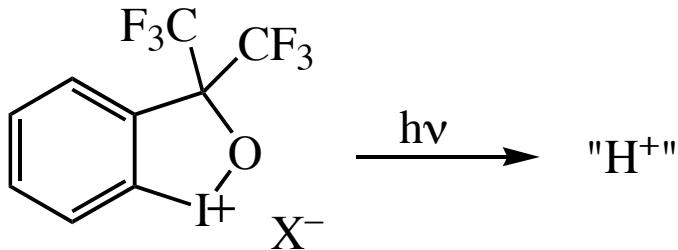


(1) 光酸発生剤の研究

印刷刷版をはじめ、コーティング材、微細加工レジスト、ラピッドプロトタイピング等の感光性樹脂材料のキーマテリアルとなる開始剤のひとつである光酸発生剤の設計・合成・評価している。特に、新しい構造の分子を利用することを考えている。



(2) 近赤外光反応開始剤系の研究

通常、光硬化には紫外光や可視光を利用することが多いが、エネルギーの弱い近赤外光と色素、反応開始剤の組み合わせで、照射光の波長域に吸収のない開始剤を増感させる開始剤系の研究をしている。近赤外光は、光通信などにも利用されていることから、高感度な開始剤系を見いだすことで、弱いエネルギーでも屈折率の異なる樹脂材料を硬化させ光導波路等に応用することが可能である。

